

まちづくり通信

ふらりと歩ける 懐かしくて新しいまち



今年の歴史勉強会のテーマは「山車と祭」



今年11月、とちぎ秋まつりが開催されます。栃木市には昔から夏の「神輿とお囃子の山車の夏祭り」と、秋の「江戸型人形山車の秋まつり」があります。この二つの祭はどのような歴史をたどり今に至っているのでしょうか。岡田家に残っている「岡田嘉右衛門親之日記」の祭りに関する資料などをもとに紐解いていきます。

また、栃木市には江戸型人形山車はじめ10台の人形山車があります。町内ごとに保存管理していますが、人形山車の購入の際の資金調達やその後の祭典の仕方について、町内ごとに違いがあるそうです。そのあたりの舞台裏の話もしていただきます。皆さんのお越しをお待ちしております！



テーマ

江戸から明治にかけての江戸型人形山車と北部三町内
(泉町、嘉右衛門町、大町)の祭りの歴史を探る

講師

佐山 正樹 氏 (元とちぎの山車まつり伝承会会長)

日時

2026年3月14日 (土) 13:30~15:45

会場

嘉右衛門町伝建地区拠点施設「交流館」
(嘉右衛門町2-11) ガイダンスセンター隣
※例年と異なるのでご注意ください

駐車場

伝建地区無料駐車場 (小平町3-2) 20台分あり

参加費

無料 (事前申込不要)

持参物

筆記用具



先進地視察に行ってきました 富岡製糸場編

毎年、近隣の街の先進事例を学ぶ視察研修。今年は、1月に群馬県富岡市に行ってきました。富岡市には、2014年に世界遺産に登録された富岡製糸場があります。敷地内には、産業遺産である煙突や工場、倉庫などが数多く残されています。

富岡市の取組みが伝建地区の味噌工場跡地活用の今後の参考となることから、視察先として選定しました。世界遺産や周辺施設を管轄する市役所の方々とも意見交換を行い、新たな知見を得ることができた有意義な一日となりました。



富岡製糸場を見学。ガイド歴15年のベテランガイドさんによる案内の後は自由見学。整備中の煙突の様子に参加者は興味津々！



旧富岡倉庫。芝生広場を中心に、大正～明治期の建物が残されており、飲食店、物販店などとして活用されている。



旧富岡倉庫の一角にある世界遺産センター「セカイト」。群馬県内に点在する世界遺産について映像などを通じて深く学ぶことができる。



富岡市役所にて、世界遺産・観光・都市整備に関わる部署の方々と意見交換。工場整備の話を中心に参考になる話を聞くことができました！

会員募集中！

当会では、会員を随時募集しております。伝建地区の活動に関わってみたい、地域のことを学びたい、地域をよりよくしていきたい、といった思いがある方、お問い合わせください。伝建地区外にお住まいの方でも会員になれます。



詳細は『kaemos』で検索

<主な活動>

クリーン作戦 毎月第1日曜の朝7時からの地域の清掃活動
花いっぱい運動 コキアやサクラソウなど街道を彩る植物の設置
歴史勉強会 有識者を招き、地域の歴史を様々な角度から学ぶ
その他、イベントや先進地視察など楽しい行事を企画しています

<年会費>

正会員 3,000円 賛助会員 2,000円

まちづくり通信 vol.26 2026年2月 発行
発行元 NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会
理事長 杉戸洋 会員 35名 (2026年2月 時点)